青森若葉養護学校 コミュニティ・スクール通信

Let's WKB

令和5年9月12日(火) 第 3 号 文 責:教 頭

環境美化活動 (地域清掃)をしました。(9月6,日)

「教育活動充実のためのアイデア募集!」をテーマに井戸端会議(熟議)をした第2回学校運営協議会で出たたくさんのアイデアを改めて校内のコミュニティ・スクール担当者で検討し、手始めに地域の清掃活動に取り組むことにしました。

本校ではこれまでも環境美化活動として、年に1回県病付近の遊歩道や県病構内のバス停留所の 清掃などに取り組んできました。この活動を基に、今年度は地域の方にも御協力いただきながら行うことにしました。

9月6日(水)雨が心配された空模様でしたが、本校の児童生徒に加え、造道町会(会長:川村清秀さん)の 10 名で、学校隣の遊歩道、県立中央病院構内のバス停、そして道路沿いの県立中央病院前バス停の清掃をしました。









町会の皆さんと協力して清掃活動に取り組んだのは、高等部2年 | 組、3年 | 組の生徒です。生徒は初めてお目にかかる地域の方々に緊張したものの、活動しているうちにバス停のベンチや壁面が少しずつきれいになり、きれいになってくると自然と打ち解け、最後は笑顔で言葉を交わすことができました。

たまたま停留所でバスを待っていた方に「バス停がきれいになって、とても気持ちがいいわ。どうもありがとう」と言葉をかけていただき、微力ながら地域に貢献できたことを実感した生徒たちでした。

今回の活動をするにあたっては、造道町会の皆様に加え、青森市 交通部の皆様にも、御理解と御協力をいただきました。心から感謝

いたします。(青森市交通部の Web ページでも今回の活動を紹介していただいています。)

地域の皆さんのお力を借りて行った清掃活動は、教員にとってもこれまでの学習を見直したり、更なる発展や新たなる発見ができたりと、多くのことを得ることができたりと、貴重な機会になりました。今後ともよろしくお願いします。

つくりみち町会夏祭り(8月19日)











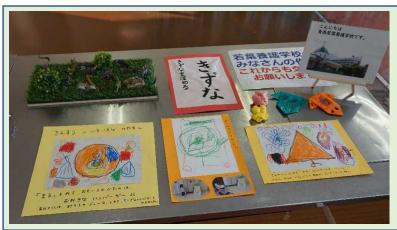




雨が心配された 8 月 19 日、造道町 会主催の「つくりみち町会夏祭り」に、 本校職員が参加してきました。

造道小学校出身の今千里さんのライブ、また体育館中央を櫓に見立てての 盆踊り等、充実の内容でした。

ここ3年のコロナ禍において、開催自体を見合わせたり、会の規模を縮小して行ったりしていた夏祭りですが、地域の方々が参集し、笑顔で踊る姿に、「ようやく夏が帰ってきたなあ・・」と思ったところです。また、町会の皆さんの踊りの輪に加えていただき、「仲間になれた!」感を覚えました。とても楽しかったです。どうもありがとうございました。



造道小学校夏休み作品展

造道小学校の御厚意で、本校小学部児童の 作品も作品展の一部として展示させていただき ました。

急なことであったため、今年は児童生徒が鑑 賞することはできず、作品のみの交流となりまし た。放課後には、小学部を中心に9名の職員が 作品展を鑑賞しました。

一番近い学校である「造道小学校」。これか らも仲良くしましょう。

夏季休業中コミュニティ・スクール担当職員がコミュニティ・スクール コミスク先進校視察 の先進校に赴き、情報収集をしてきました。

千葉県内特別支援学校初のコミュニティ・スクール。地域ととも 千葉県立飯高特別支援学校 に美化活動、高齢者福祉活動、防災活動などを実施。









誰でも説明できるコミスクのこと

学校運営協議会を Zoom で配信を はじめ、学校全体で取り組む仕組み構 築されていた。当日も、学部副主任と 教務部副主任が案内してくれた。

児童生徒の変容を目の当たりにす ることが、教師のやり甲斐につながっ ているとのことであった。

とにかく「アツい」校長先生の思い

校長先生のリーダーシップ、コミス クにかける熱い思いなど、校長先生の 勢いがまぶしかった。

神奈川県立あおば支援学校

悩みは一緒「学校を知ってもらうこと」

地域の子どもたちが通う小中学校 とは異なり、特別支援学校はまだまだ 地域の方に知られていない。地域の方 に認知していただくことがまず以て 課題。

意見を出すときは「子どもを主語」に

熟議を進めるファシリテーターの 打合せに参加させていただいた。

- ・先生方が本音を話すと、他の参加者 が意見を出しやすくなるから、ファ シリテーターを楽しんで!
- 意見を出すときは、子どもを主語に という熟議のヒントをいただいた。

令和2年度開校。学校経営方針の重点に「地域貢献」を掲げる。 学校運営協議会の組織として部会制を導入している。







